

# 津うのドまんなかジャズ フェスティバル

音楽で中心市街地活性化にお手伝いいたします。

## 津うのドまんなかジャズフェスティバル開催

- ▶ 1) 少しクセのある街のミュージシャンが、イベントに出演するだけでなく、このフェスを運営し、自ら地域の活動に関わる。
- ▶ 2) 音楽が、街の賑わいになることで、地域の活性化につながる。
- ▶ 3) 津市の活躍するミュージシャンにスポットをあてて、津市の音楽文化の発展に協力する。



津うのドまんなかバルと協力。  
バルが『食』 ジャズ『音』で  
中心市街地を活性化します。





## 中心市街地の活性化

街の魅力の再認識。再活用。  
思い出の古い映画館でライブ。

▶街で良い会場がないかなと探したら、昔懐かしの映画館オーナーが協力してくれました。中に入るときれいに昔のままの保存していただいてました。

▶最近各地で街の再利用というか、新しい形で街を見直す取り組みが、各地で見受けられます。

▶大門が賑わってた世代と、そんな頃を知らない世代が、音楽を通じて出会い、一緒に街のことを考える機会になればと考えます。

津市の音楽文化の育成を考えます。

津市の中学生の素敵なバンド。  
それを教える先生。  
その先生に教わった生徒が、  
今はプロミュージシャン。

▶津市立南郊中学ではじまった、ジャズバンドの演奏が素晴らしいと各地で話題になってます。全国的なビックバンドのコンテストでの受賞経験もあるそうです。

▶そのバンドを指導した竹内先生が、昔指導した生徒が、名古屋で活躍するメインバンドのプロベーシストとして、このフェスティバルを応援してくれてます。

▶それより以前ですが、同じ学校で学んだ日本を代表するビブラフォン奏者大井貴司さんもこのフェスティバルに第1回目から出演いただいてます。

▶音楽を通じた交流は、世代を越えて繋がり、津市の音楽文化の育成につながっています。



スタッフはミュージシャン。  
ジャズで鍛えた自由な発想。  
世代を越えたネットワーク。

ジャズは譜面通りに弾かない即興音楽です。  
訓練すればするほど、自由になり、自由な音を奏で  
られます。  
ジャズは今日であった人とすぐに一緒に演奏します。  
その繋がりは世代も性別も関係ありません。  
そんな自由な発想や、ネットワークはきっと津市の  
まちづくりにも役立つ時が来ると考えます。  
また昨年までの運営は、そんな活動を支えていただける  
企業・個人の支援で活動しております。  
自分たちの街の『彩り』を自分たちの音楽で。  
津うのドまんなかジャズのメンバーは、学生から年  
配の大先輩までの有志で、自由に元気に活動してい  
ます。



# 5月11日開催。 全9会場で開催。

- ▶津うのドまんなかジャズは、
- ▶津うのドまんなかバルと協力して、大門地区の商店街の皆様と共に中心市街地活性化に取り組みます。ライブハウス会場のお店からも強力なサポートをいただいている。
- ▶昨年は、53バンド 310名のミュージシャンに参加していただき、街を盛り上げていきました。

